



2018年10月29日

株式会社日本政策金融公庫  
仙台支店国民生活第二事業

## 全国中小企業動向調査(小企業編)結果

(2018年7-9月期実績、10-12月期見通し)

宮城県

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

### [概況]

- ・今期の業況判断DI(全業種計)は、前回調査(2018年4-6月期)に比べてマイナス幅が6.3ポイント拡大し、▲38.1となった。来期については、マイナス幅が縮小し、▲26.5となる見通しである。
- ・業種別にみると、製造業(▲53.8)ではマイナス幅が縮小し、非製造業(▲36.0)では拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業、建設業、運輸業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大した。
- ・今期の売上DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が5.2ポイント縮小し、▲23.9となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- ・今期の採算DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が1.7ポイント拡大し、▲23.4となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

### 【問い合わせ先】

株式会社日本政策金融公庫仙台支店国民生活第二事業  
Tel: 022-222-5377 (担当: 高橋)

[調査の実施要領]

調査時点 2018年9月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 146 企業  
 有効回答数 113 企業  
 有効回答率 77.4 %

< 業種構成 >

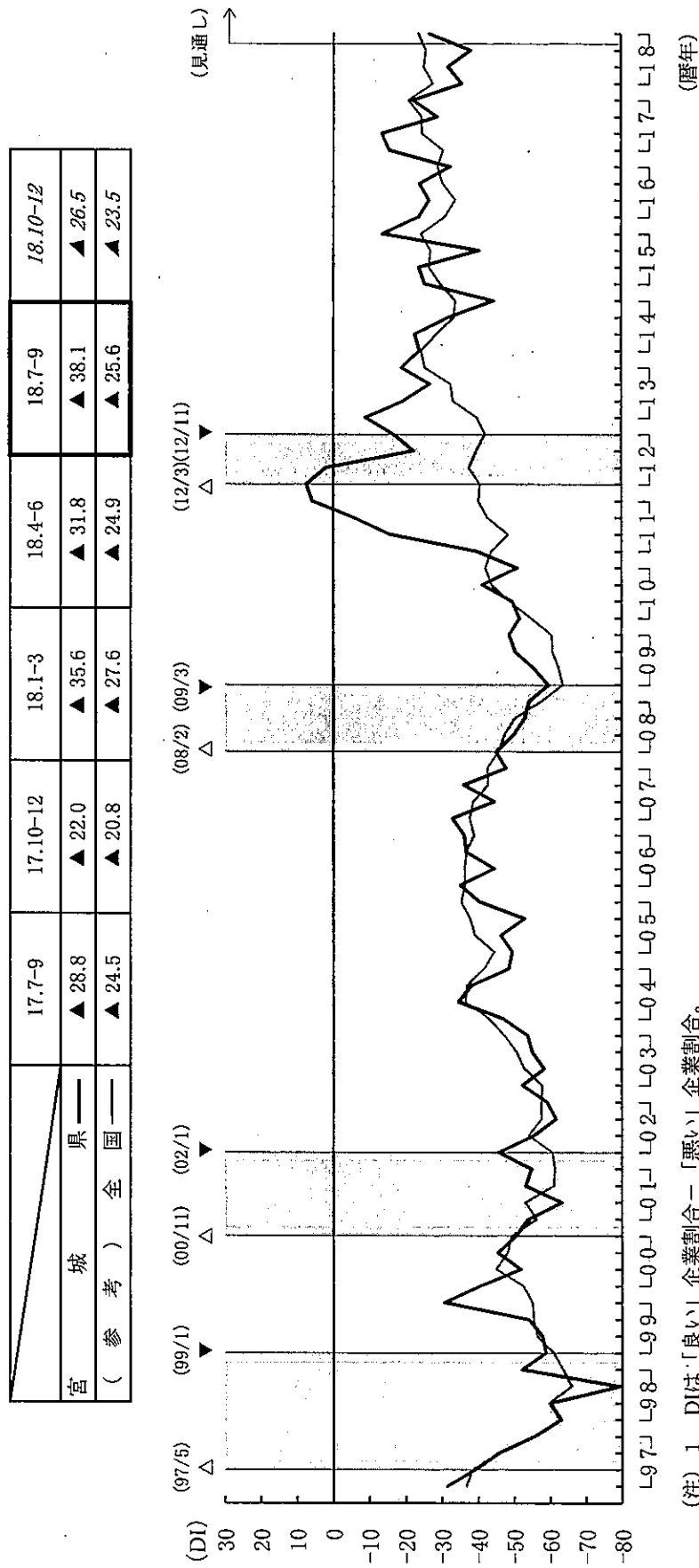
	調査対象	有効回答数	(構成比)
製造業	15 企業	13 企業	11.5 %
卸売業 (従業者20人未満)	20 企業	16 企業	14.2 %
小売業 (同 10人未満)	36 企業	26 企業	23.0 %
飲食店・宿泊業 (同 10人未満)	15 企業	15 企業	13.3 %
サービス業 (同 20人未満)	33 企業	17 企業	15.0 %
情報通信業 (同 20人未満)	2 企業	2 企業	1.8 %
建設業 (同 20人未満)	19 企業	18 企業	15.9 %
運輸業 (同 20人未満)	6 企業	6 企業	5.3 %

# 1 業況判断

○ 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2018年4-6月期）に比べてマイナス幅が6.3ポイント拡大し、▲38.1となった。来期については、マイナス幅が縮小し、▲26.5となる見通しである。

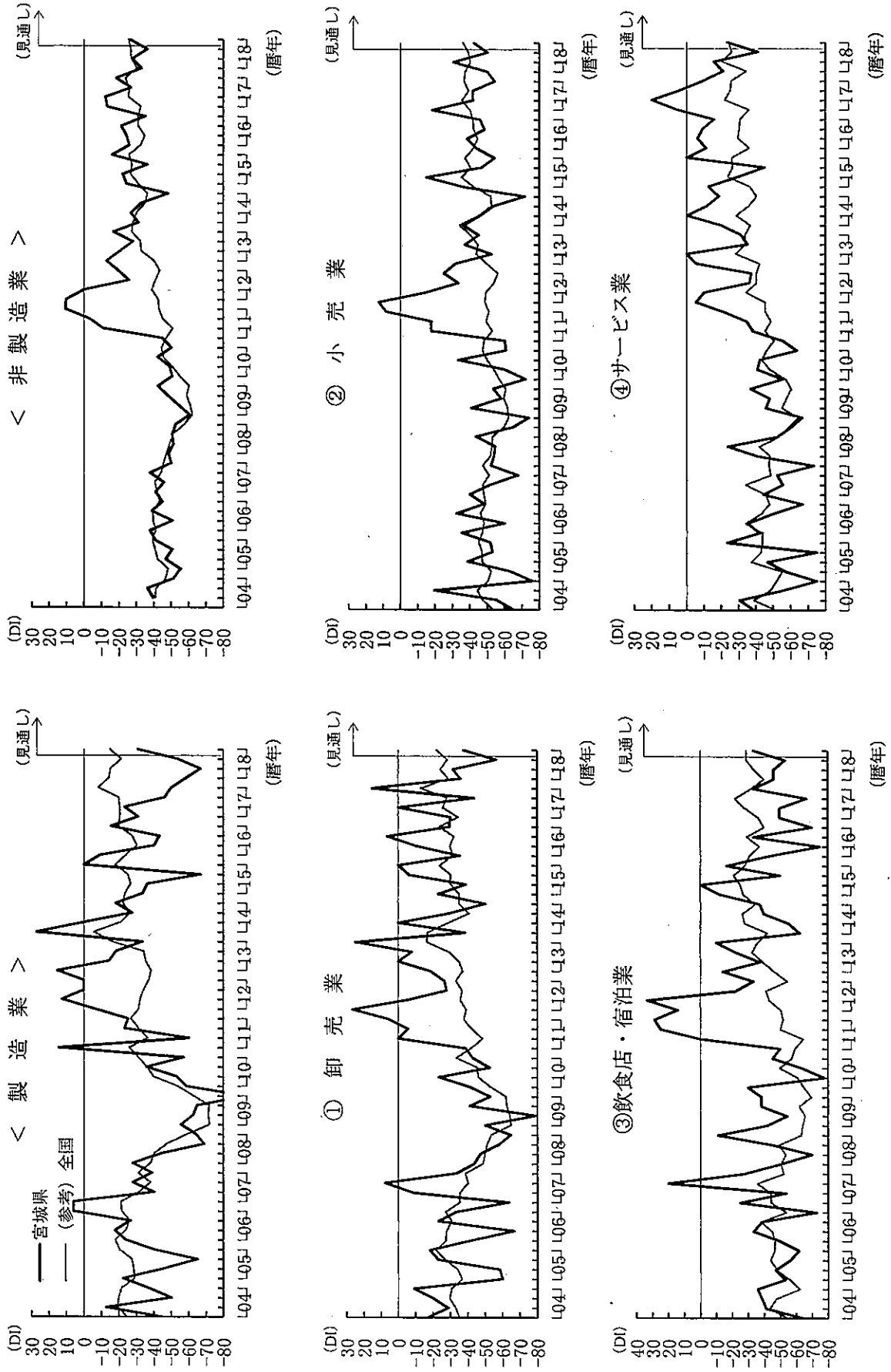
○ 業種別にみると今期の業況判断DIは、製造業（▲53.8）ではマイナス幅が縮小し、非製造業（▲36.0）では拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業、建設業、運輸業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大した。

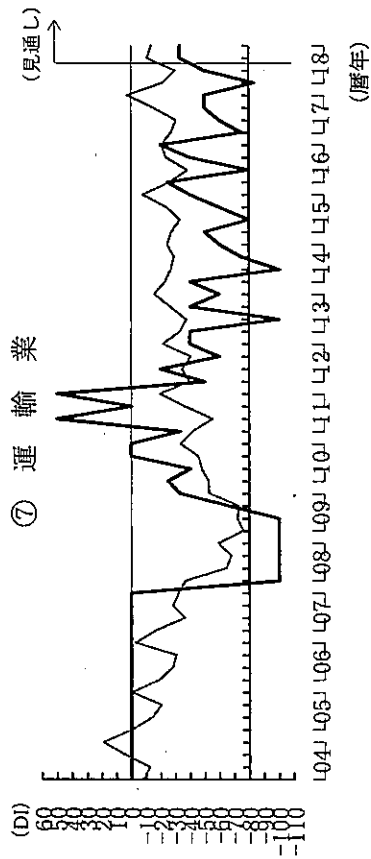
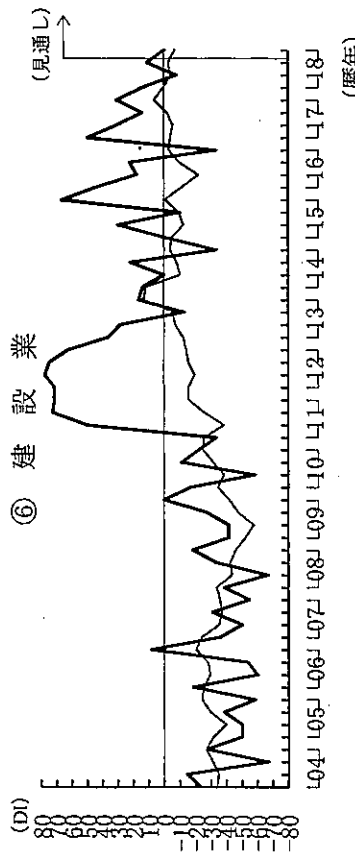
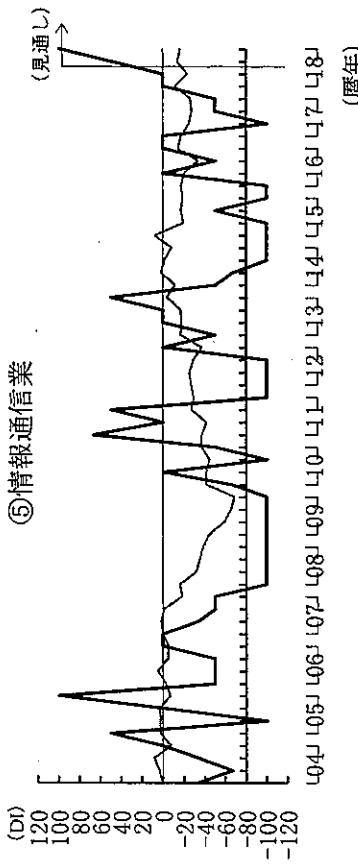
図-1-1 業況判断DIの推移（全業種計）



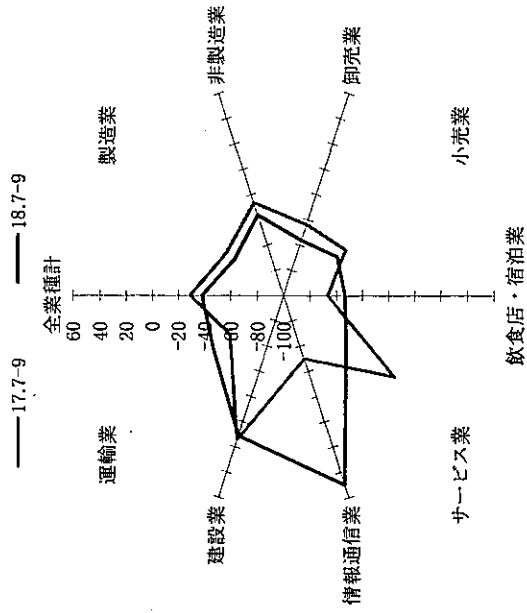
(注) 1 DIは「良い」企業割合 - 「悪い」企業割合。  
 2 斜体は見通しの値を示している（以下同じ）。  
 3 ▲は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図-1-2 業況判断DIの推移 (業種別)





(参考1) 1年前との比較 (宮城県)



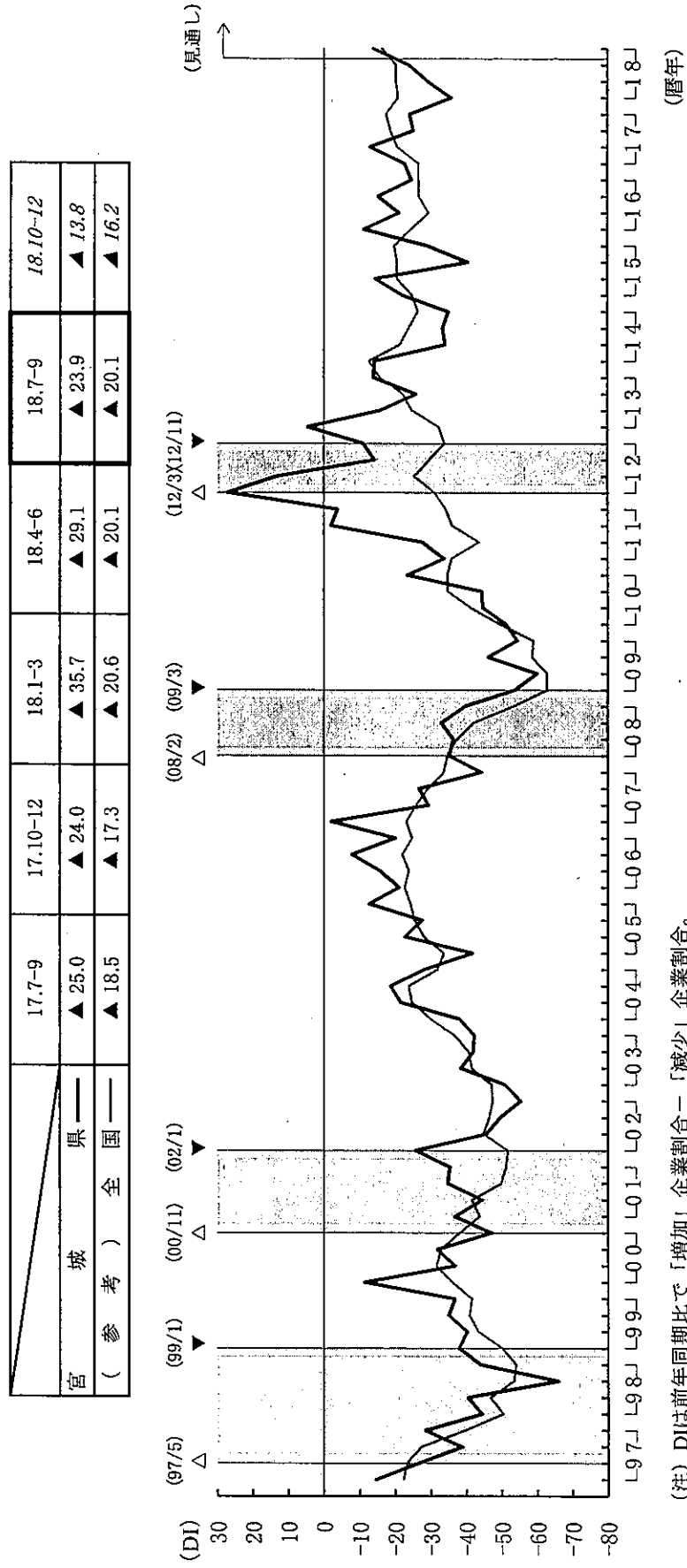
(参考2) 時系列データ (宮城県)

	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12
全業種計	▲ 28.8	▲ 22.0	▲ 35.6	▲ 31.8	▲ 38.1	▲ 26.5
製造業	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 66.7	▲ 53.8	▲ 30.8
非製造業	▲ 26.5	▲ 18.2	▲ 32.6	▲ 27.4	▲ 36.0	▲ 26.0
卸売業	▲ 43.8	15.4	▲ 35.7	▲ 31.6	▲ 56.3	▲ 37.5
小売業	▲ 41.7	▲ 54.2	▲ 50.0	▲ 30.4	▲ 50.0	▲ 42.3
飲食店・宿泊業	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 46.2	▲ 46.2	▲ 53.3	▲ 33.3
サービス業	4.2	▲ 9.5	▲ 21.1	▲ 15.8	▲ 41.2	▲ 23.5
情報通信業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	100.0
建設業	14.3	30.8	14.3	▲ 7.7	11.1	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3

## 2 売上

- 今期の売上DI (全業種計) は、前回調査からマイナス幅が5.2ポイント縮小し、▲23.9となった。
- 来期も、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-2 売上DIの推移 (全業種計)

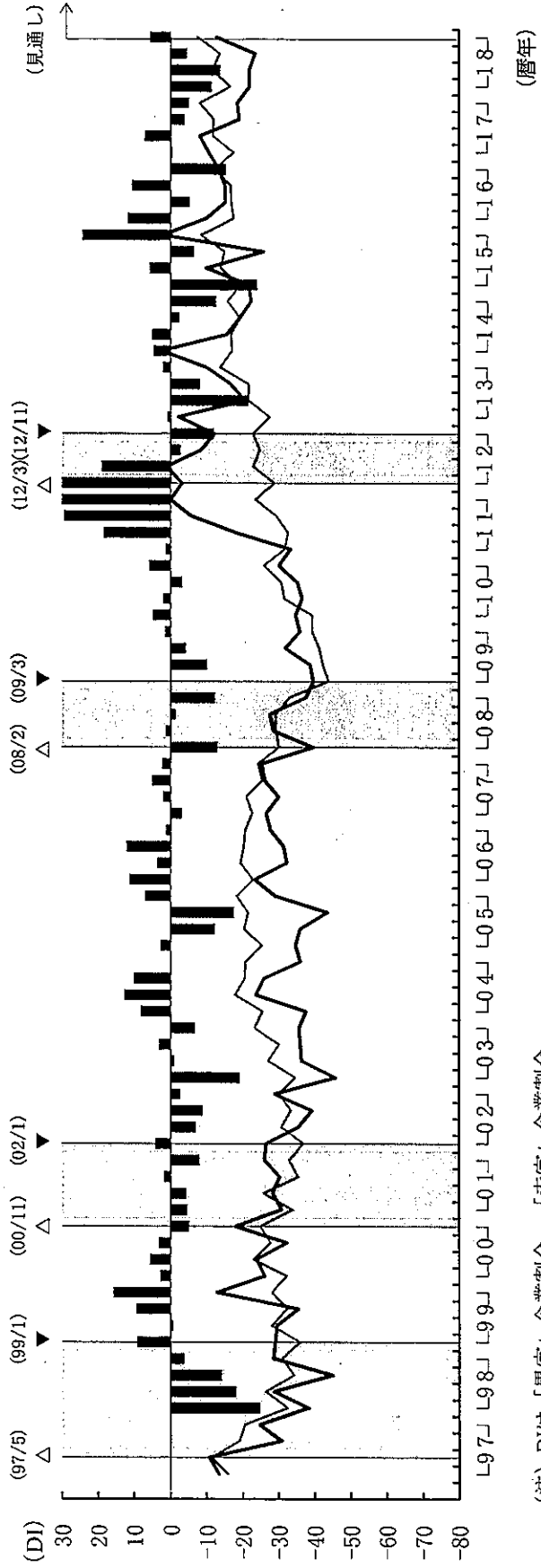


### 3 採算

- 今期の採算DI（企業種計）は、前回調査からマイナス幅が1.7ポイント拡大し、▲23.4となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-3 採算DIの推移（企業種計）

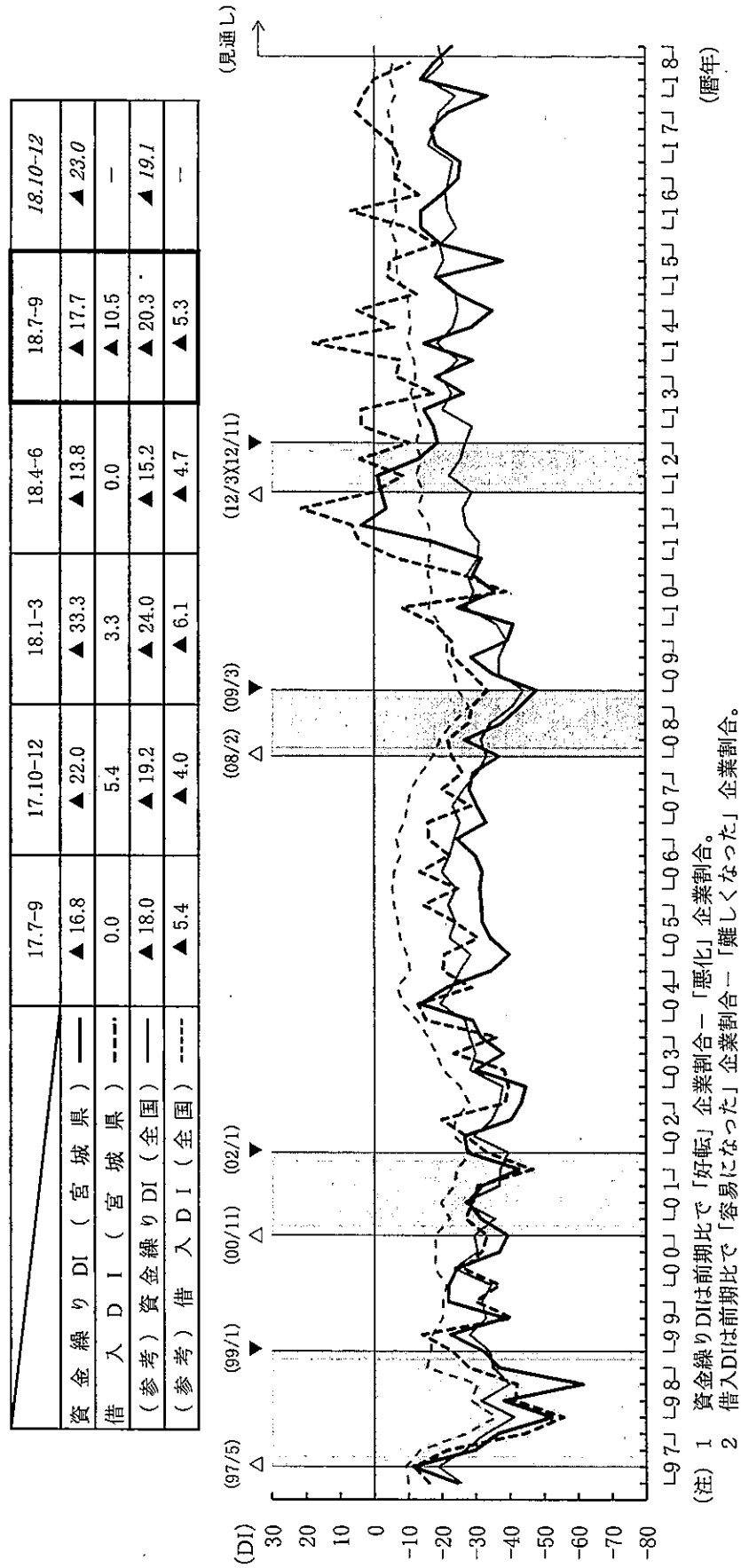
	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12
宮城	▲18.9	▲18.4	▲21.8	▲21.7	▲23.4	▲12.6
前年同期実績との差	-4.0	-5.1	-11.4	-13.7	-4.5	5.8
(参考) 全国	▲11.8	▲7.9	▲16.3	▲11.4	▲13.4	▲7.4



#### 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が3.9ポイント拡大し、▲17.7となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前回調査からマイナス幅が10.5ポイント拡大し、▲10.5となった。

図-4 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



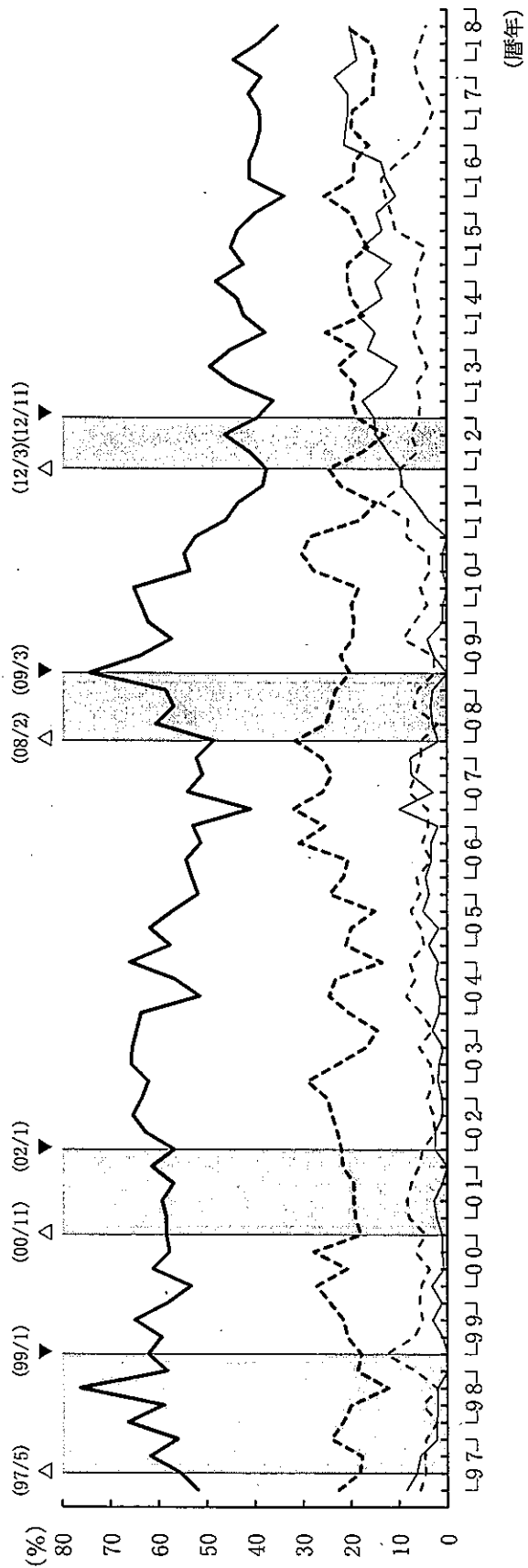


## 5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が35.4%と依然として最も多く、「利益減少」（20.4%）の順となっている。

図一5 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9
売上不振	41.4	38.8	44.6	39.3	35.4
利益減少	15.3	15.3	14.9	15.9	21.2
求人難	20.7	23.5	18.8	19.6	20.4
設備老朽化等	4.5	6.1	6.9	5.6	4.4



## 6 設備投資

○ 設備投資実施企業割合（全業種計）をみると、前回調査から4.1ポイント上昇し、14.5%となった。

図-6 設備投資実施企業割合の推移（全業種計）

	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9
宮城 県	13.5	14.1	10.9	10.4	14.5
前年同期実績との差	-3.9	-6.3	-1.5	-5.8	1.0
(参考) 全国	13.6	12.5	10.6	13.5	12.6

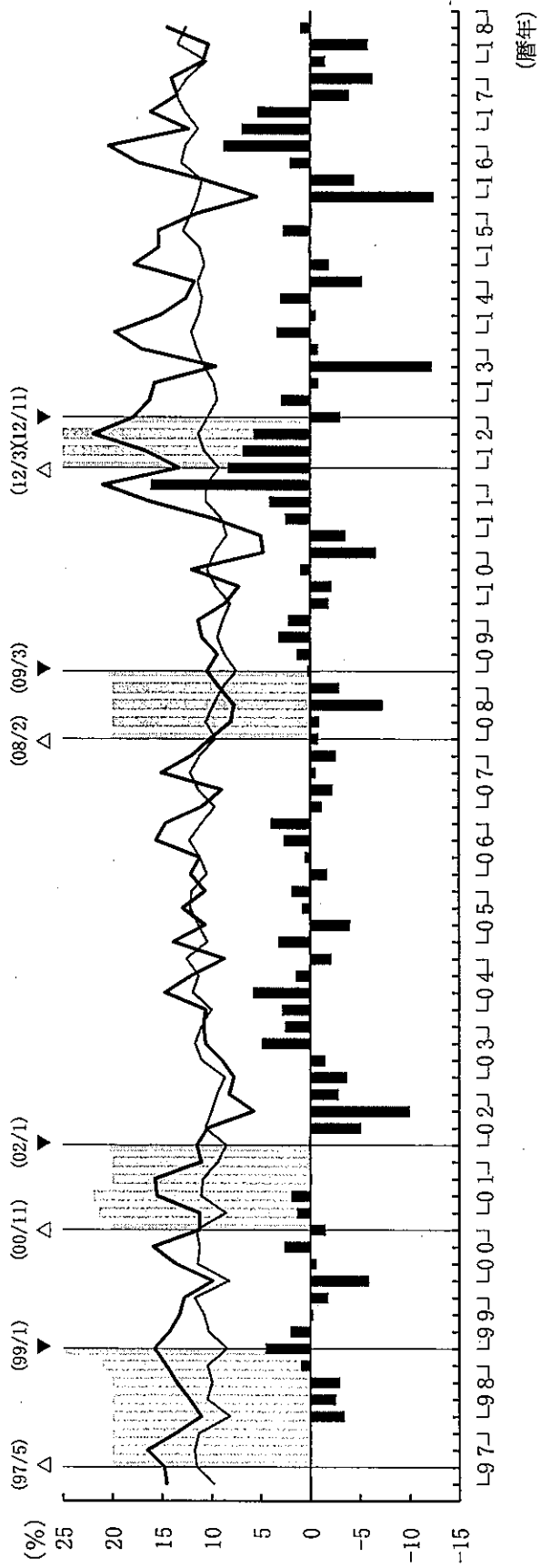
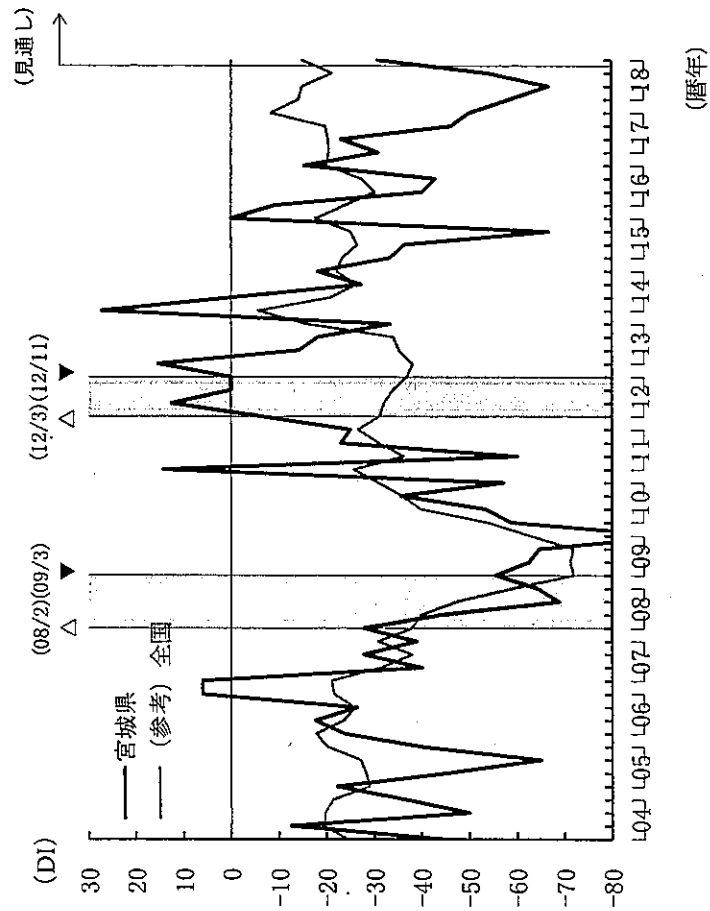


図-1-2 業況判断DIの推移 (製造業・非製造業)

< 製造業 >

	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12
宮城県	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 66.7	▲ 53.8	▲ 30.8
(参考) 全国	▲ 8.2	▲ 14.2	▲ 14.9	▲ 21.1	▲ 14.8



< 非製造業 >

	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12
宮城県	▲ 18.2	▲ 32.6	▲ 27.4	▲ 36.0	▲ 26.0
(参考) 全国	▲ 23.2	▲ 30.0	▲ 26.8	▲ 26.5	▲ 25.1

